

**第4回すみだストリートジャズフェスティバル
ステージディレクター運営マニュアル2013**



バンドステージ委員会

ステージディレクターとは？

音楽イベントの主演は当然ミュージシャンです！その出演ミュージシャンたちと密にコミュニケーションを重ねて、イベント当日のステージをプロデュースするのが「ステージディレクター」です。すみだジャズでは約 30 のステージがあり、それぞれのステージディレクターの奮闘がそのまますみだジャズの成功に直接関わる重要な役割です。バンドへの連絡や当日のステージ運営など大変な業務ではありますが、反面、自分色のステージを演出できるやりがいのあるポジションです。ボランティアスタッフやバンドとの強い絆を作り、あなたも「すみだ」で音楽の輪を広げてみませんか？

●必要なスキル

- ・エクセル・ワード、メールソフト操作など、ある程度の PC スキル
- ・音楽とすみだが大好きなこと！

※ ドラムセット・キーボード・ギター&ベースアンプ・PA システム等への知識・技術は無くても問題ありません。すみだジャズ主催の講習会などを通じて必要な知識は覚えていけます。

●バンドステージ委員会のイベント

- ・ 月 1~2 回程度のバンドステージ委員会会議
- ・ 音源審査&プログラム編成会議 日程未定
- ・ 本番約 1 週間前の事前準備
- ・ 8 月 16 日(金) 本番前日準備
- ・ 8 月 19 日(月) 本番後片付け
- ・ 本番約 1 週間後の後片付け
- ・ その他すみだジャズに関する全てのイベント

※ 参加必須イベント

- ・ 6 月 2 日(日) 決起集会(現地ロケハン)
- ・ 7 月 7 日(日) バンドミーティング
- ・ 8 月 17 日(土)& 8 月 18 日(日) すみだジャズ本番



ステージディレクターの業務（本番前）

◆音源審査&プログラム編成会議の参加

担当されるステージが決まると、音源審査とプログラム編成会議に参加することが出来ます(任意)。それぞれのステージにどんなバンドを集めるのか、どんな音楽ジャンルに特化するのか、バンドステージ委員で話し合います。ステージの条件(ドラムの有無、屋内か屋外など)が合えば、ご自身が担当されるステージに企画性を持たせることも可能です。バンド出演も希望するステージディレクターは、ここでご自身の担当ステージにご自身のバンドもアサインしてしまいましょう。会議の参加は任意ですが、せっかくの担当ステージの編成です、ご自身のカラーを出す為にも是非参加しましょう。

◆出演バンド連絡窓口

1 ステージに割り振られるバンド数は2日間で10~15バンド程。これら音源審査&プログラム編成会議で出演が決まったバンドの代表者との連絡窓口を、ステージディレクターが担います。連絡用に、すみだジャズスタッフも共用で閲覧可能な専用アドレス stageXX(ステージ番号)@sumida-jazz.jp を用意。バンドとの連絡にプライベートアドレスをご使用いただくことはありません(スタッフ間の連絡ではプライベートアドレスを用います)。出演バンドのプログラム(時間・場所)が確定した時点で、一斉にバンドミーティング(後述)の案内をしていただく他、バンドとの連絡や質疑応答など基本的に全てステージディレクターを介して行います。メール用文章のテンプレートは委員会でご用意いたしますが、ご自身の言葉でコミュニケーションをして頂いて構いません。メール対応で不明な点はバンドステージ委員会(バンステ)が対応いたします。

◆現地の「ロケハン」(参加必須)

6/2(日)に開催する「決起集会」にステージディレクターも参加していただき、担当ステージの現地確認「ロケーションハンティング(以下ロケハン)」を行っていただきます。屋根の有無や人通りの多さ、屋内ステージならば階段の有無など、現地ではなければ解らない「空気感」を確認して、本番当日のイメージ創りに繋げて下さい。また、この時のバンドステージ委員会分会を行いますので、そこで質疑応答も直接承ります。

◆「バンドミーティング」開催(参加必須)

本番のおおよそ1ヶ月前(7月)に、約300の全出演バンドが一堂に会する「バンドミーティング」を開催いたします。ここで初めてステージディレクターとバンドの代表者が直接顔を合わせ、ステージ毎のプログラム(時間・場所)と機材の確認、現地の確認「ロケハン」をします。「質問される側」として質疑応答して頂くので、事前でのステージ情報の把握が必要になりますが、基本的にエリアチーフが必ず傍にいますので不明な点はすぐに確認いただけます。

メールの対応とバンドミーティングにおけるバンドとの信頼関係の構築が、本番トラブルの無いステージ運営につながっていきます。手間のかかる作業ですが、バンドと良いお付き合いが出来るようにがんばりましょう。

◆バンド情報確認シート管理

前述のバンドミーティングでの説明を一通り終了したのち、使用機材や楽器編成を確認する「バンド情報確認シート」の記入をバンドにお願いします。これは、機材班が機材の確認に使用する他、本番ステージディレクターが進行の為バンド編成を把握するために必要な、大変重要なシートです。このバンド情報確認シートで、バンドが要求する内容とすみだジャズで用意できる機材を付け合わせ「出来ること出来ないこと」を、バンドとステージディレクターとバンステ委員会が共有します。回収は用紙でも jpeg や pdf などのファイルでも構いません。最終的にご自身のステージ全出演バンド分のバンド情報確認シートを回収していただき、本番はこの情報に基きステージを運営していただきます。

ステージディレクターの業務（本番当日前後）

◆ 8/16（金）前日準備

すみだジャズ倉庫にて、担当ステージで使用する機材（ドラム、エレピ、PA システムなど）や資材（テント、椅子、机など）を機材表に準じて確認（状態、個数、付属品など）して仕分けを行い、各ステージへの搬送準備を行います。この日は委員会全体が前日準備に追われますので、ご自身の準備が終わり次第、他の運搬作業や備品チェックなどを手伝いましょう。

※すみだジャズ本番 8/17(土)8/18(日)の二日間は参加必須です。前日準備と後日かたづけの為に 3~4 日間連休を取るの厳しい場合は、本番の二日間を優先してください。

◆ 8/17（土）&8/18（日）ステージ設営

AM8:00 頃より、バンドミーティングの時にロケハンした場所にステージを作ります。屋外・屋内、ドラムあり・なし、テント設営の有無、物販連携あり・なし、などステージにより様々なシチュエーションがありますが、共通している事は「ステージの音が出るまで」が第一目標です。トラックから機材表どおりの荷物が来ているかチェックし、ステージ毎に決められた楽器・テント・PA（音響機材）システムのセッティングや配線を行います。PA システムの配線や楽器セッティングなどはディレクターさんが出来るに越したことはありませんが、難しいようであれば出演バンドさんに手伝ってもらいましょう。

◆ 8/17（土）&8/18（日）ステージ運営

ステージをプログラム通りに円滑に運営することが主な役割です。バンドの演奏やセッティングのタイムキープ、場内整理・警備、楽器・PA システムなどの備品管理などです。専門の PA スタッフや MC（司会）スタッフの配置が無いステージに関しては、ステージの運営を妨げない限りはディレクターがご自身で行っていただいて構いません。また、当日ボランティアスタッフのスケジュール管理も重要な役割です。適度に食事や休憩を回して、無理の無い運営を心掛けてください。不明な点、観客や出演者に関するトラブルなどあった場合は、お近くのエリアチーフに連絡して頂ければ速やかに対処いたします。

◆ 8/17（土）&8/18（日）ステージ撤収

当日全てのプログラムが終了し、お借りしていた会場を現状復帰します。すみだジャズは土曜日日曜日と二日間開催されます。8/17(土)の夜は撤収の有無や撤収先の倉庫などステージ毎にさまざまな条件がありますが、8/18(日)は全ての機材・資材を専用トラックに積み込みすみだジャズ倉庫に片付けます（一部ステージを除く）。ゴミや汚れを残さず、開催前よりも後のほうがきれいな街「現状以上復帰」を目指しましょう。撤収が終了したらエリアチーフに報告の後、当日ボランティアスタッフを解散して業務終了です。体力・気力・すみだ愛が十分に満ち足りていれば、まだまだメイン会場や倉庫の撤収があります！こちらもどうぞお手伝い下さい。

◆ 8/19（月）後かたづけ

お借りしていた公園の清掃と、倉庫の撤収作業を行います。日程未定ですが、約 1 週間後にも運搬作業があります。都合付けられる方は是非ご参加下さい。

つくろう、あなた色のステージ!

**ミュージシャンがアーティストであるように、
ステージディレクターもまたアーティストです。
皆さんの奮ってのご参加、お待ちしております!**